



© Keijiro Suga

発表者

赤坂友昭 (写真家)

片桐功敦 (華道家)

木村友祐 (小説家)

佐川光晴 (小説家)

佐々木愛 (美術家)

高山明 (演出家、Port B)

ディスカッサント

石倉敏明 (芸術人類学者、秋田公立美術大学)

総合司会

管啓次郎 (比較文学者、明治大学)

橋本雅也 (彫刻家)

服部文祥 (サバイバル登山家)

瀬瀬あや (映画監督)

古川日出男 (小説家)

分藤大翼 (映像人類学者、信州大学)

山口未花子 (文化人類学者、岐阜大学)

波戸岡景太 (アメリカ文学者、明治大学)

2011年3月11日以降の事態は、われわれに「命とは何か、生活とは何か」という根源的な問いを改めてつきつけてきました。現在を、そして未来を、われわれヒトはどう生きるのか。ヒト社会のみならず、すべての命に、今後どう関わるのか。

動物たちが身をささげてくれたおかげで、ヒトはヒトになった。14名のアーティストおよび研究者による、「動物のいのち」をめぐる徹底討論です。

シンポジウム

動物のいのち

2014年

11月29日(土)

10:00～17:00

第1部 〈動物のいのち〉をめぐる連続プレゼンテーション

第2部 〈動物のいのち〉をめぐるタウン・ミーティング

明治大学中野キャンパス

5階ホール (JR中野駅より徒歩8分)

入場無料・予約不要

主催 = 明治大学理工学研究科 新領域創造専攻

共催 = 明治大学 野生の科学研究所

協力 = 「すばる」(集英社)

連絡先 = 明治大学理工学部 批評理論研究室 管啓次郎 (044-934-7275)